

## 第8回情報セキュリティ政策会議にあたっての意見

2006年10月25日  
(株)イプシ・マーケティング研究所  
代表取締役社長 野原 佐和子

### 1. 前回会合での端末及びウェブサーバに関する対策評価に続き、それ以外の情報セキュリティ対策についても ABCD 評価等の具体的評価方法で報告してほしい

政府機関が率先して情報セキュリティ対策を講じ他に対して模範となるために、PDCA サイクルを回すことが重要とこれまで申し上げてきたが、この点で、前回会合で情報セキュリティ対策の評価第一弾として、端末及びウェブサーバに関する重点検査項目の評価結果を ABCD の 4 段階で評価・公表したことを高く評価している。

また今回、有識者会合での発言を受けて、「セキュア・ジャパン 2006」に盛り込まれた個々の施策の進捗状況を①～④の 4 段階評価で評価したことについても、関係府省庁や NISC の皆さんの努力に対して敬意を表したい。

そこで、アンチウイルスソフトや端末の物理的固定といった基本的対策だけでなく、情報の取り扱いや保存、移送について、アクセス制御、暗号化・電子認証について、通信回線やアプリケーションソフトに関する対策など、端末及びウェブサーバ以外の全体の情報セキュリティ対策についても ABCD 評価等の具体的評価方法で速やかに進捗状況を報告していただきたい。

### 2. 3 年計画の 1 年目がどこまで目標を達成できたのか、しっかり評価確認できるよう、今後も進捗状況の報告をしてほしい

これまでに申し上げて、その結果専門委員会を設けて検討していただいていると思うが、上記のような個々の対策についての具体的評価だけでなく、1 年目の施策全体の実施状況が 3 年計画に対してどこまで進捗しているのかがわかるように、今後も進捗状況を報告していただきたい。

それを踏まえて、2 年目以降の施策を適切に進めていくことが PDCA サイクルの実現に必要であるし、その結果として 3 年計画の目標達成に近づくことができる。

### 3. 表彰制度は、趣旨に鑑み、次回以降は公募などを取り入れたよりオープンなスタンスで実施してほしい

情報セキュリティの重要性について広く国民に普及・啓発を図ることは重要な施策なので、その成果が得られるように適切に施策を実施していただきたい。

この点で、表彰制度の実施案は趣旨を十分反映していない部分があるのではないかと。

趣旨にあるように「情報セキュリティに関する優れた取組みを広く普及させる」ためには、公募による事例募集、評価基準の明示、審査委員会での審査などの仕組みを採用することにより、よりオープンなスタンスで実施していただきたい。表彰制度の告知及び被表彰者の訴求を積極的に行うことも必要ではないかと。今回の実施が困難であれば、次回以降はより効果が現れるよう改善していただきたい。